



社会福祉法人福岡市社会福祉協議会
早良区社協事務所（早良区社会福祉協議会）
福岡市早良区百道1-1-1 UMIBE BLD.1階
TEL:092-832-7383 FAX:092-832-7382
Eメール:sawaraku@fukuoka-shakyo.or.jp

福岡市社会福祉協議会
マスコットキャラクター
こっこと



— 「目」と「耳」と「心」を傾けて —

傾聴ボランティア養成講座を実施

早良区社協事務所では、豊かな知識や経験を持つシニア世代や50歳以上の方を対象としたボランティア養成講座（シニア世代の活動支援事業）を毎年開催しています。

令和5年度は「傾聴ボランティア」をテーマにして、3日間に渡って開催しました。

「傾聴」とは、目や耳、心を傾けて、相手の話を聞くことを言います。傾聴ボランティアは、その技術を活かして、相手の気持ちに寄り添うボランティア活動です。

講師は、経験豊かなカウンセラーで構成されたNPO法人FFAフォローシップ協会の方々。傾聴の基本的な態度や技法を、実技を交えながらお話ししていただきました。

最初は緊張していた受講生も、傾聴するときの相手との距離や体の向き、相槌の打ち方や言葉の返し方等を学ぶうちに、すっかり打ち解けた様子でした。受講生からは「実技が楽しくて、時間が足りない」との声も聞かれました。

講座には、平成28年に同講座の受講を契機に結成された、傾聴ボランティアグループ「ふくろう」の方々も参加され、先輩ボランティアとして介護施設等での活動内容をお話しいただきました。後日、今回の受講生3名が「ふくろう」に加わり、活動を開始しています。

早良区社協事務所は、今後もボランティアを始めた方に向けた講座を企画していきます。関心のある方は、ぜひお気軽にご参加ください。



参加者の声

- 雰囲気やわらかく、緊張することなく過ごせました。
- 自分を見つめる時間になって本当に良かったと思います。

ご好評につき、今年度も開催します!

今年度は、令和6年9月6日（金）、13日（金）の2日間で開催します。詳しくは、早良区社協事務所にお問合せください。

脇山校区 「令和5年度福岡県ひとり暮らし高齢者等見守り活動に関する知事表彰」を受賞されました

脇山校区社協では、全町内で見守り活動を行なっており、活動のマニュアル作成や定期的な会議の開催など精力的に活動しています。また、自治協議会や公民館、「さわら南よかこネット(※)」とも連携し、出張地域カフェや買い物支援バスの運行を通して高齢者の安否確認を行なっている町内もあります。このような取り組みが評価され、この度の受賞となりました。

脇山校区ではこれからも安心して暮らせるまちづくりを推進していきます。

※「さわら南よかこネット」とは…

介護事業所等で組織された早良区南部で活動する地域支援ネットワークです。



▲(左)脇山校区社協会長 重松 重興氏

寄付を通じた支援の輪が広がっています!

飯倉校区

能登半島地震で被災された方々を支援するため、自治協議会協力のもと校区社協を窓口として、公民館内に募金箱を設置しました。多くの方から寄せられた11万円もの義援金は、早良区社協事務所を通じて中央共同募金会にお届けいたします。ご協力ありがとうございました。

有田校区

株式会社石橋商会から、会社の餅つき大会で集まった総額39,483円を有田校区で活動されている「こども食堂さい」にご寄付いただきました。いただいたご寄付で子どもたちに美味しいお弁当をお渡ししています。



▲かわいいイラスト付で寄付のご報告

早良区社協事務所では子ども食堂の開設や子ども食堂への支援のお手伝いをしています。お気軽にお問合せください。

室見校区

ふれあいネットワークの勉強会を開催

全町内でふれあいネットワーク活動を行なっている室見校区では、今年も新任の班長の方を対象とした勉強会が開催されました。

開会あいさつでは、長年にわたりネットワーク活動に携わってこられた片瀨校区社協会長が、経験談を交えて一人暮らしの高齢者の「見守り・安否確認」の大切さを語られ、これから活動される方へ熱いエールを送りました。

早良区社協事務所からは活動の目的や見守りのポイントなどの説明に加えて、「日頃から支え合いの仕組みづくりをしておくことが災害時の支え合いにも繋がる」と伝え、参加者は熱心に耳を傾けてくださいました。



賛助会員を募集しています

賛助会費 個人：一口 500円～
法人・団体：一口 10,000円～

福岡市社協は「誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくり」をすすめており、その趣旨にご賛同くださる賛助会員を募集しています。

お寄せいただいた会費は、総額の60%が校区社協の福祉活動財源となり、残りの40%を早良区内の福祉活動運営費として大切にに使わせていただきます。